

釧路管内ふるさとキャリアだより

～小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業～

北海道教育庁釧路教育局教育支援課高等学校教育指導班〔第4号〕平成29年11月20日発行

北海道キャリア教育サミットに参加しました

平成29年10月31日（火）札幌市のホテルライフオーソ札幌で開催された「北海道キャリア教育サミット」に弟子屈高等学校から2名の生徒が参加しました。



北海道キャリア教育サミットは、本事業に関わった児童生徒が、これまで3年間の学習成果等を交流するとともに、取組及び成果を広く普及し、各学校におけるキャリア教育の改善・充実を図ることを目的に行われ、全道から111名の小・中学生及び高校生が出席しました。

14管内ごとに、これまでの取組について児童生徒がプレゼンテーションを行ったり、テーマに基づいてディスカッションを行ったりしたほか、学習の成果やそれぞれの市町をPRした「展示ブース」で説明するなど、活発な交流が繰り広げられました。以下に弟子屈高校の様子を御紹介します。

〈発表及び意見交換〉

発表では、小・中学校及び高校の取組について報告しました。

小学校の取組として、幼小中高連携事業「フラワータッチ」について、中学校の取組として、「職場体験活動」について、体験したことや成果、感想等を報告しました。また、高校の取組として、「地域ダイスキ！プロジェクト」の英語による弟子屈町PR動画の制作や外国人観光客への観光ガイドといった、地域の特性や教育資源を生かした実践を報告しました。小中学生のインタビュー動画を流すなど、とても工夫された発表内容でした。



続けて行われた意見交換では、「地域にどのような施設があれば良いか」というテーマでのディスカッションにおいて、「弟子屈には有名な観光地が多くあるので、宿泊研修や見学旅行で利用できる宿泊施設があれば、多くの高校生に弟子屈を知ってもらえる」という発言がありました。



〈展示ブースでのPR活動〉

「弟子屈町MAP」や特産品を中心に学習の成果を展示しました。多くの参加者がブースを訪れ、生徒は質問に答えたり、町をPRしたりするなど、積極的にコミュニケーションを図っていました。

出席した生徒へのインタビュー

参加してくれた弟子屈高校3年生の太田花菜さんと服部紗奈さんに、インタビューしました。

Q 発表はいかがでしたか？

制限時間通り発表を終えました。改めて弟子屈町は良い町だと思えて良かったです。（太田）緊張しましたが、練習通りできました。他校の実践も知ることができて良い経験でした。（服部）

Q 展示ブースでのPR活動はいかがでしたか？

私たちが作った町のポスターについて説明し、十分に弟子屈町をアピールできました。（太田）全道の各地域や他校のことを詳しく学べて楽しかったです。（服部）

Q 最後に今後の抱負を一言お願いします！

私たちが地元を好きにならなければ、町は変わっていかないということを学びました。（太田）来春、私は弟子屈町を離れますが、どこに行っても弟子屈の魅力を伝えたいと思います。（服部）

